

前回定例会以降の動き

平成30年10月3日
新潟県防災局原子力安全対策課

1 安全協定に基づく状況確認

- 9月11日、柏崎市、刈羽村とともに、発電所の月例の状況確認を実施しました。

[主な確認内容]

- ・ 1号機の非常用ディーゼル発電機の不具合について、調査状況の説明を受け、現地を確認しました。
- ・ 9月4日、5号機海水熱交換器建屋（非管理区域）における海水の漏えいについて、調査状況の説明を受け、現地を確認しました。

2 新潟県原子力災害時の避難方法に関する検証委員会について

9月10日、第4回新潟県原子力災害時の避難方法に関する検証委員会を開催し、原子力災害時の県等の対応（事故情報等の伝達体制及び県の放射線モニタリング）について、検証をしていただきました。

3 新潟県原子力発電所事故による健康と生活への影響に関する検証委員会について

9月11日、第4回生活分科会を開催し、避難生活の長期化に伴う課題や福島県中通りで避難せずに生活してきた方々の生活への影響について、調査報告していただきました。

4 新潟県原子力発電所の安全管理に関する技術委員会（以下、技術委員会）について

9月12日、技術委員会における福島事故検証課題別ディスカッション「地震動による重要機器の影響（第12回）」を開催し、非常用電源の喪失原因に関する仮説について委員から説明いただき、議論していただきました。

5 その他

9月5日：報道発表「東京電力柏崎刈羽原子力発電所1号機の耐震安全性評価に係る計算誤りに関する知事コメント」

9月6日：報道発表「【続報】柏崎刈羽原子力発電所1号機の非常用発電機が試験中に手動停止したことの原因調査により、速やかな復旧が難しいとの連絡がありました。県のモニタリングポストに異常は確認されていません。」

平成30年9月5日

防 災 局

東京電力柏崎刈羽原子力発電所1号機の耐震安全性評価
に係る計算誤りに関する知事コメント

本日、東京電力から、平成22年に行った柏崎刈羽原子力発電所1号機の耐震安全性評価に係る計算結果に誤りが確認されたとの報告がありました。

詳細についてはこれから確認しますが、安全性に関わる部分にこうした誤りがあったことは、大変遺憾です。

東京電力に対し、他にも同様な誤りがないかの徹底的な調査と、記載誤りの原因究明、再発防止対策を求めました。

本件についてのお問い合わせ先

原子力安全対策課長 原

(直通) 025-282-1690 (内線) 6450

平成30年9月6日
防災局原子力安全対策課

【続報】 柏崎刈羽原子力発電所1号機の非常用発電機が試験中に手動停止したことの原因調査により、速やかな復旧が難しいとの連絡がありました。

県のモニタリングポストに異常は確認されていません。

平成30年8月30日に東京電力柏崎刈羽原子力発電所から1号機非常用ディーゼル発電機が試験中に手動停止したことについて、次のとおり、東京電力から原因調査の状況の連絡がありました。

『本日（9月6日）、過給機^(※1)の軸が固着していることを確認しました。過給機の軸固着に関する原因調査は、工場への持ち出しが必要となり、速やかな復旧が難しいことから、実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則第134条に基づく報告事象に該当するものと判断しました。このため、本日14時10分、原子力規制委員会に当該規則に基づく報告をいたしました。』

※1 過給機

機関の排気ガスのエネルギーを利用したタービンを回すことにより、燃焼用空気を圧縮して機関に供給する装置（ターボチャージャー）

また、東京電力によれば、現時点において保安規定に基づく機能要求台数は、他の2台にて満足しているとのことです。

なお、県が実施している放射線モニタリングでは、異常な値は検出されていません。発電所周辺の県放射線モニタリングの状況はこちらからご覧いただけます。

<http://housyasen.pref.niigata.lg.jp/>

本件についてのお問い合わせ先
原子力安全対策課 原子力安全広報監
伊藤
(直通)025-282-1694 (内線)6451